

平成30年6月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成30年5月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成30年5月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成30年3月期											
	平成29年									平成30年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	469	488	449	404	489	539	483	482	607	552	499	562
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437	115,410	122,896	81,853	142,982	164,784	129,679
外国為替取引口座数 (単位:口座)	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001	307,465	308,647	309,873	311,645	313,167	314,547
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734	63,512	61,675	61,378	62,789	62,309	61,758
一般顧客	50,108	50,819	51,353	52,431	53,410	54,057	55,014	55,820	55,367	57,073	57,628	56,966
金融法人 (B to B)	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676	8,498	5,854	6,010	5,716	4,680	4,792
マネパカード口座数 (単位:口座)	77,503	81,189	85,019	90,702	97,327	101,409	104,187	107,082	110,964	116,830	119,853	122,719

年 月	平成31年3月期											
	平成30年									平成31年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位:百万円)	536	519										
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	91,552	116,599										
外国為替取引口座数 (単位:口座)	315,872	317,341										
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	62,379	61,817										
一般顧客	57,653	57,015										
金融法人 (B to B)	4,725	4,802										
マネパカード口座数 (単位:口座)	124,965	129,820										

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成23年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 5月次の概況 >

5月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝109円台前半で取引が始まり、前月からの米中の通商問題の動向をにらみつつも、4日に発表された米国雇用統計が市場の予想を下回ると108円台半ばまで下落しました。その後、108円台後半から110円台前半にかけての水準で推移した後、15日には各種の米国経済指標の好調な結果を受けてドルが買われる流れとなり、21日には米中通商交渉を受けて摩擦懸念が後退すると月の高値となる111円台半ばをつけました。ところが、その後トランプ大統領が米朝首脳会談の中止を公表するなど地政学リスクが高まると円買ドル売の流れとなり、108円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、上旬から中旬にかけて値動きの小さい相場推移の後、下旬にはリスク回避の円買い等により値幅は拡大し、米ドル／円の変動率は低下したものの全体としての変動率は、前月を若干上回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、ユーロをはじめ米ドル／円以外の取引が大きく増加したことにより前月比27%増加の1,165億通貨単位となりました。一方、営業収益は、取引高の増加に加え取引高当たりの収益性が高まった結果トレーディング収益が増加したものの、前月増加したシステム子会社によるシステム開発関連売上の反動減から、前月比3%減少の519百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,469口座増加の317,341口座、マネパカード口座数は前月比4,855口座増加の129,820口座と堅調に増加した一方、外国為替取引預り証拠金は、一部通貨の急落等により顧客の損益が悪化したことを受けて前月比561百万円減少の61,817百万円となりました。

以 上